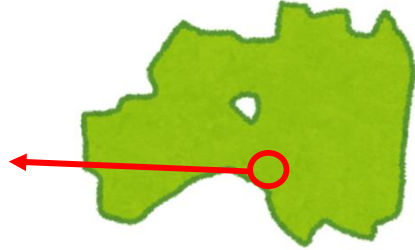


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(30年度:計画作成主体:白河市農業再生協議会)(福島県)

取組の概要

対象品目 : 水稲(産地面積35ha)
主な取組主体 : (株)吉野家ファーム福島
成果目標 : 生産コストの10%以上の削減
基準(H28年度) 112,900円/10a
目標(R2年度) 99,860円/10a
導入施設等 : 整備事業(乾燥調製施設
(乾燥台、放冷タンク))
生産支援事業(機械リース
(コンバイン 1台))

福島県
白河市
金山・古関地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

地域農業の担い手は高齢化により離農者数が増加しており、同時に耕作放棄地も増加し、農業を取り巻く環境は厳しい状況にある。今後、地域を競争力のある産地とするために、中心経営体への農作業の集約化と環境整備により、生産コストを低減することが必須である。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①中心経営体への稲作作業の集約化
- ②乾燥調製施設及び内部設備を導入してコスト削減を図る。
- ③高性能農業用機械(コンバイン)を導入して作業の効率化及び省力化を図る

産地体制

・県南農林事務所
・白河市
・JA東西しらかわ

取組主体((株)吉野家ファーム)
乾燥調製施設の整備
コンバインのリース導入

助言・指導

助言・指導

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
・行政機関(県・市)及び農協によるサポート体制

白河市農業再生協議会
①計画の策定・管理
②取組計画への助言

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・市単独事業によりICT機能等を有するスマート農機の導入を補助。補助率は1/2で上限1,000千円(補助対象経費が5,000千円以上の場合には上限1,500千円)

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①コンバインのリース支援による初期投資の節減効果
- ②乾燥調製施設及び内部設備の整備によるコスト削減
- ③中心経営体への稲作作業の集約により作業の効率化

【事業実施による間接効果】

- ①担い手による作付面積が拡大し、生産量が増加
- ②事業の拡大に伴い雇用を創出

生産コストを
11%削減
(達成率92%)

